

記者発表資料

平成29年 1月11日

雲仙・普賢岳溶岩ドームの挙動の公表について

溶岩ドームの挙動につきましては、地域の方々に溶岩ドームに対する防災意識の向上がより一層図られることを目的に平成27年11月より公表を開始しました。

今回の公表は、平成28年12月の状況を記載していますので確認下さい。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
(0957) 64-4171 (代表)
地域防災調整官 江口 秀典 (内304)
ホームページ:<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

平成 28 年平成新山(溶岩ドーム)調査状況 第 14 報

(平成 28 年 12 月の調査状況)

○光波観測機、地上型レーダー観測、GNSS 精密測量の結果、急激な変化はなく、これまでと同様の傾向を示しています。

(平成 28 年の調査状況)

○溶岩ドームの挙動はこれまでと同様の傾向を示していますが、平成 27 年と比べるとやや変化量が小さくなる傾向が認められます。

1. 溶岩ドームの状況

1) 光波測距儀観測状況 (観測期間 : H9 年 5 月 17 日 ~ H28 年 12 月 31 日)

大野木場-P8 間の変化量	変化量	年換算変化量
12 月の変化量 (12/1~12/31)	-3.1 mm	-37.2 mm/年
平成 27 年の変化量	-51.3 mm	-51.3 mm/年
平成 28 年の変化量	-23.7 mm	-23.7 mm/年
観測開始からの変化量	-1,235.0 mm	-62.9 mm/年

※大野木場みらい館から P8 の観測結果

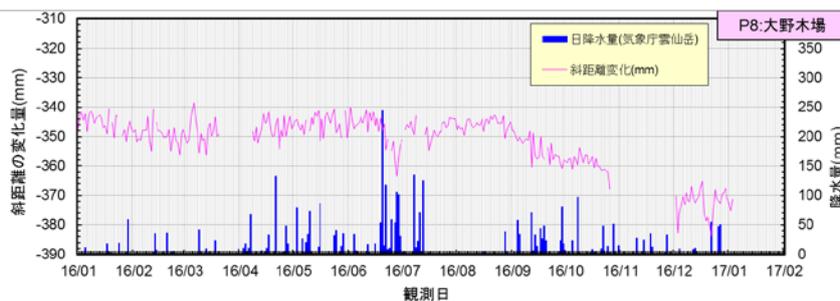
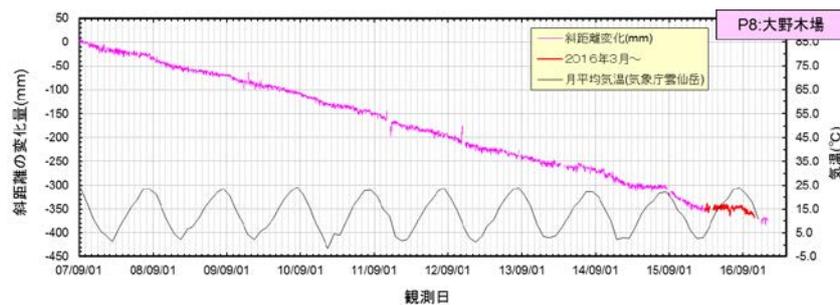


図. 1 光波測距儀の観測結果の推移

変化量は暫定値で、後日の調査で変更となることがあります。

2) 地上型レーダー観測状況（観測期間：H23年6月21日～H29年1月1日）

表 1 末端4領域の変化量

末端 ブロック	12月の変化量		平成27年の 変化量[mm]	平成28年の 変化量[mm]	観測開始からの変化量	
	変化量[mm]	変化算 [mm/年]			変化量[mm]	変化算 [mm/年]
M2-1to3	0.5	-30.1	-30.7	-15.7	-156.7	-30.1
M2-4	-0.9	-35.2	-37.1	-21.9	-183.3	-35.2
M1	-1.4	-35.5	-36.3	-24.1	-184.9	-35.5
A4-3	-2.2	-33.2	-34.4	-25.2	-172.8	-33.2

長期対応基準：-50mm/年

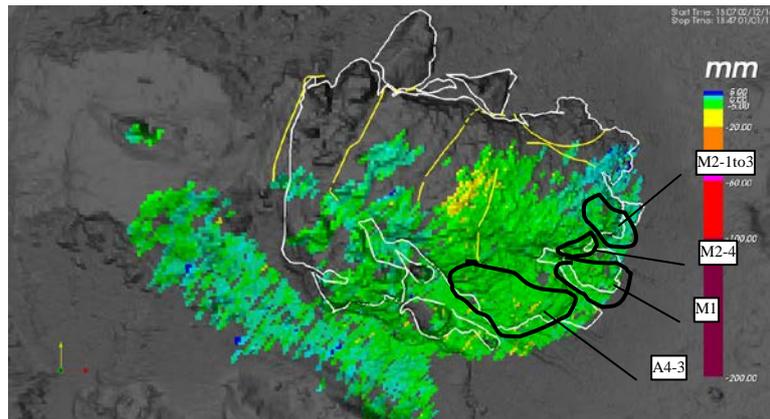


図.2 12月の変化分布

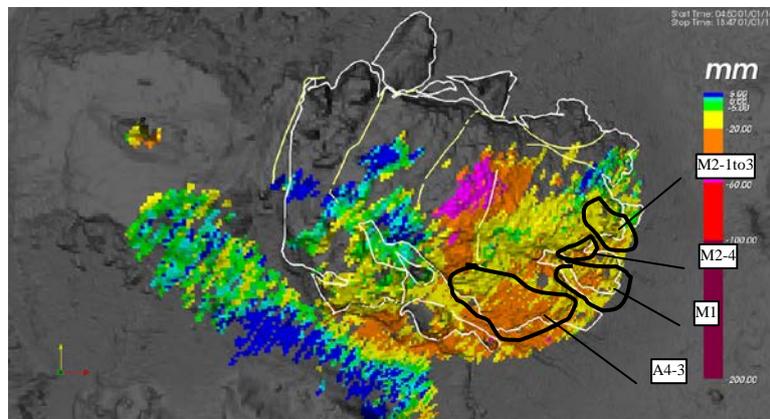


図.3 平成28年の変化分布

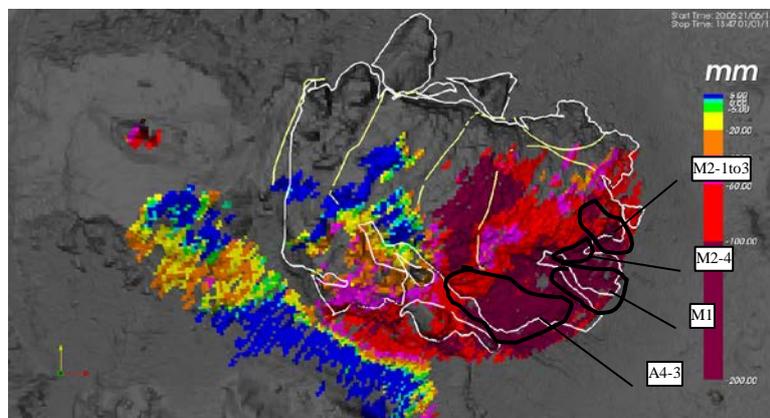


図.4 観測開始からの変化分布

3) 山頂 GNSS 測量の状況 (観測期間 : H24 年 10 月 24 日 ~ 観測日 : H28 年 11 月 17 日)

全観測点の 変化量の平均	水平		垂直	
	変化量	年換算変化量	変化量	年換算変化量
平成 27 年の変化量 ※H26. 10. 28~H27. 11. 12	66. 4 mm	63. 8 mm/年	-14. 1 cm	-13. 6 cm/年
平成 28 年の変化量 ※H27. 11. 12~H28. 11. 17	52. 2 mm	51. 3 mm/年	-10. 0 cm	-9. 9 cm/年
観測開始からの変化量	199. 45 mm	50. 8 mm/年	-40. 4 cm	-10. 3 cm/年

※平成 28 年熊本地震の影響を控除するため、FT3 を固定した場合で、全観測を再計算している



図. 5 GNSS 観測による平成新山(溶岩ドーム)の移動ベクトル (H24. 10. 24~H28. 11. 17)

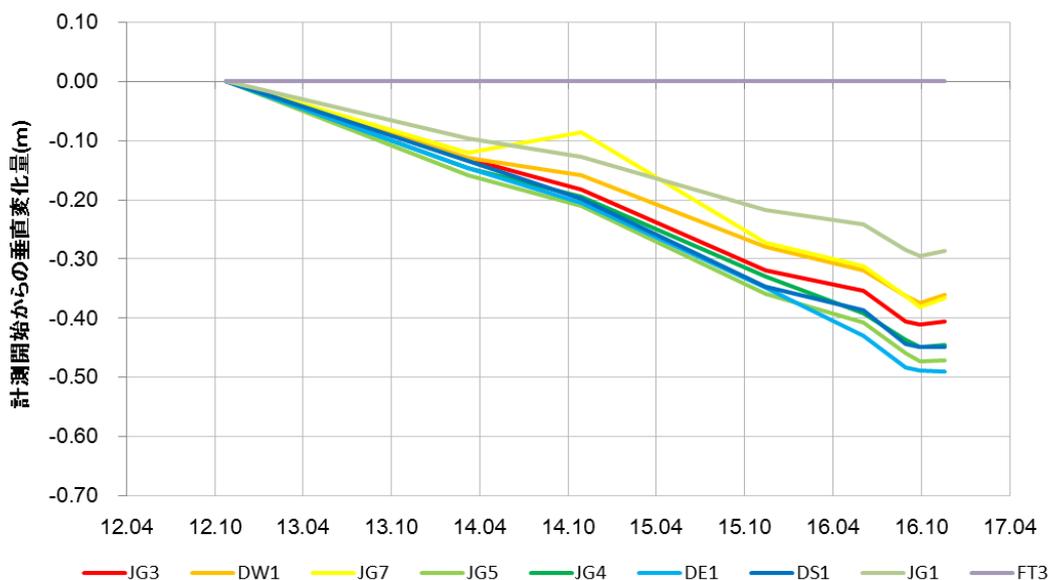


図. 6 GNSS 観測による平成新山(溶岩ドーム)の垂直変位量 (H24. 10. 24~H28. 11. 17)

4) その他の状況

近年発生した土石流および地震の記録を以下に示す。これらの事象において、溶岩ドームの挙動に有意な変化は認められていない。

<土石流>

- ・平成 28 年 6 月 20 日 推定堆積土砂量：6.5 万 m³

<崩落>

- ・平成 28 年 11 月 2 日 溶岩ドーム北斜面にて崩落発生
崩落量：約 6 千 m³

<地震>

- ・平成 28 年 4 月 14 日 21:26 頃 南島原市、島原市、雲仙市で震度 4
- ・平成 28 年 4 月 14 日 22:07 頃 南島原市で震度 4
- ・平成 28 年 4 月 15 日 00:03 頃 南島原市、島原市、雲仙市で震度 4
- ・平成 28 年 4 月 16 日 01:25 頃 南島原市で震度 5 強、島原市、雲仙市で震度 5 弱
- ・平成 28 年 4 月 16 日 01:45 頃 南島原市で震度 5 弱、島原市、雲仙市で震度 4
- ・平成 28 年 4 月 19 日 17:52 頃 南島原市、島原市、雲仙市で震度 4

これらの地震を受けて、光波観測機、地上型レーダー観測の結果に、僅かな揺らぎが確認されたが、急速な変化は認められなかった。

2. これまでの経年変化

1) 光波測距儀の変化量 (大野木場観測所 P8)

年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H18年	—	—	—	-5.3	-11.0	-5.3	0.6	-3.3	-20.0	5.0	-10.6	-22.6	-73.3
H19年	51.0	-14.0	-37.0	16.0	-11.0	-16.0	12.0	-22.0	-9.6	-3.8	0.0	0.7	-33.6
H20年	-7.8	-10.6	6.3	-6.9	6.9	-8.8	-2.8	-0.6	-12.9	-5.5	3.9	-5.7	-44.7
H21年	-1.2	-2.1	-5.6	-5.2	-1.2	1.0	-2.5	-1.1	-9.9	-3.3	2.3	2.6	-29.9
H22年	-7.5	-2.0	3.5	-1.5	-7.7	-7.0	3.1	-4.5	-9.1	-1.5	-10.4	-7.5	-55.2
H23年	5.3	-1.9	-6.3	4.2	-8.4	-2.4	2.0	-6.7	-5.6	-5.7	-8.4	-4.4	-38.4
H24年	-0.5	-8.0	5.7	-7.5	-2.9	-3.0	-1.4	-4.7	-4.4	-5.7	-5.6	-3.0	-41.1
H25年	-11.6	1.9	-1.6	-6.8	4.6	-7.0	1.9	-9.0	-2.2	-4.0	0.3	-1.3	-34.9
H26年	-12.1	0.0	2.9	-1.3	-12.2	11.3	-1.2	-5.3	-3.9	-7.6	-16.5	2.3	-43.8
H27年	-4.4	-2.0	1.8	-3.0	4.5	-2.0	-2.1	-16.0	-7.6	-2.7	-11.5	-5.9	-51.3
H28年	-0.7	-0.1	-1.4	1.7	-3.2	-2.3	8.8	-1.0	-12.9	-9.9	—	-3.1	-23.7

単位：mm ※各月の1日と月末の差 ※年合計値は1月1日から12月31日の差

※H28年11月は、光波観測機器更新により欠測

2) 開口レーダーの変化量 (A4-3)

年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H23年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-1.5	-6.7	-1.3	-9.5
H24年	-1.8	-3.1	-2.9	-6.1	-1.7	-1.4	-4.3	-5.3	-5.6	-2.1	-4.8	-2.3	-41.3
H25年	-2.9	-2.0	-2.3	-3.2	-0.5	-0.9	0.7	-2.9	-0.8	-6.7	-3.5	-3.3	-28.1
H26年	-2.7	-3.5	-2.7	-2.7	-2.2	-3.7	-0.6	-3.9	-3.1	-2.4	-3.0	-3.8	-34.4
H27年	-4.1	-3.5	-3.2	-1.8	-1.5	-1.8	-1.5	-2.3	-1.4	-4.0	-5.7	-3.6	-34.4
H28年	-2.5	-2.1	-2.6	-2.7	-3.2	-2.1	0.5	-1.4	-1.5	-2.7	-2.7	-2.2	-25.2

単位：mm ※値は前月の最終観測日と月末の最終観測日との差

変化量は暫定値で、後日の調査で変更となることがあります。